



心と体をリラックス！！

第15回親子短期保養プログラム in 北海道

2022年6月7日

2011年3月11日の東日本大震災、そして福島原発事故を受けて保養プログラムを始め取組んできました。しかし、コロナ禍でなかなかプログラムを計画できませんでした。まだ心配な状況が続きますが、十全な対策のもとで下記のように親子保養プログラムを企画しました。ぜひ、参加をご検討ください。

放射能被害に対し収束はありません。ますます大きな不安を抱えながら留まり続けなければならない方、これから起こってくるであろうさまざまなことを考え、押しつぶされそうになっている方、どれほど多くの方が心と体に疲れを覚えていることでしょうか。そのような方々が少しでも被ばくの心配から離れて過ごすことができるように、そして、心も体もリフレッシュしていただける機会になればと願っています。

今回、日本キリスト教団北海教区の東日本大震災支援委員会をはじめ、多くのご支援を受け行われます。このプログラムは被災地に開かれたものです。教会が主催しますが、どなたでも参加できます。楽しく、ゆったりできる、心温まるひとときをお過ごしください。

この親子保養プログラムは2011年10月に開催された北海・奥羽・東北教区の宣教会議で提案され、実現し、続けられてきました。この第15回が最後のプログラムになる見込みです。これまでは原則初めての参加者を優先してきました。今回はその原則をはずし、これまで参加されたことがあるリピーター参加も等しく受け入れ、選考対象といたします。

期 日	2022年 8月5日(金)～8月9日(火) 4泊5日
宿 泊	北海道クリスチャンセンター(札幌市)
参 加 費	1家族につき 15,000円(経済的困窮のご家庭には減免検討。お申し出ください。)
費 用	“プログラム期間中”の交通・食事・宿泊費は原則主催者が負担します。 集合・解散地(仙台空港)までの往復交通費について、上限として、大人1名につき15,000円、子ども1名につき10,000円までを主催者が負担します(領収書やメモ等をご提供ください)。フリータイム時の食事・交通費等は各自でご負担願います。
募 集 人 数	7組20名程度の親子(子どもは原則として小学生以上)
参 加 資 格	原子力災害が及んだ被災地在住、もしくは、避難者親子(リピーター可)
引率責任者	寺田 進(てらだ すずむ)「いずみ」運営委員・日本キリスト教団 原町教会牧師
プログラム/集合・解散	(以下は予定です。天候等変更の可能性のあることをご了承ください)
	8月5日(金) 仙台空港12時45分 ANA出発ロビー集合。同月9日(火)17時すぎ仙台空港で解散。 仙台～札幌間は往復とも航空機利用。5日到着後、夕・歓迎会。 6日(土)プログラム実施予定(内容未定)、7日(日)～8日(月)2日間 フリータイム 9日(火)午前わかちあい。新千歳空港集合14時45分

応募方法 「いずみ」に必要事項、応募理由を明記して、メール、Fax または郵送にてご応募ください。
ご応募後の連絡にはメールを使用します。携帯等を連絡用とする場合、パソコンからのメールを受取れるよう設定をお願いいたします。

申込締切 **6月24日(金)17時必着**。ただし、締切り前であっても定員を大幅に超過した場合、期間途中でであっても募集締切りを行うことがあります(「いずみ」HP上にてお知らせします)。締切り後のご応募は受付られませんのでご了承ください。また、航空券手配等を行うため、確実に参加できる方のご応募をお願いいたします(=参加決定後のキャンセルはご遠慮ください)。
募集締切後、参加者さまには後刻必要な詳細を連絡いたします。

問い合わせ・申し込み 〒980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目13-6
電話・FAX 022-796-5272 Eメール izumi@tohoku.uccj.jp
日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ 親子短期保養係

※コロナ禍につき参加者の安全、感染リスクに配慮して行いますが、緊急事態宣言発令等、急な中止や計画変更の可能性のあることをあらかじめご了承ください。

主 催 日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ・北日本宣教会議実行委員会
委員: 布田秀治(長)、高橋真人、小林よう子、松浦裕介、菊地啓示、原 和人、板谷良彦、小西陽祐、服部賢治
協 賛 カトリック正義と平和仙台協議会、日本キリスト教団北海教区東日本大震災支援委員会